

12月定期演奏会によせて

OMURA室内合奏団の立ち上げに際して、少人数で弦楽器のみの長岡京室内合奏団のようなアンサンブルを創りたいと思いました。しかし、長崎在住の管楽器奏者の皆さんにもプロの合奏団としての活動に参加していただきたく現在のスタイルをとりました。

室内オーケストラの真髄は、互いに聴きあい寄り添うことで、その親密さと繊細さを保つことですが、これは各人の高い演奏能力と深い信頼関係から生まれるものです。来年15周年を迎えるOMURA室内合奏団は果たしてその真髄に達しているでしょうか？

12月の定期では、弦楽器のみでのコンサートを聴いていただきます。今までに一度佐世保で弦楽器のみでのコンサートを行いました。今回のプログラムはとてもユニークで、通常ピアノ曲として知られているドビュッシーの“月光”や“アラベスク”を松原勝也さんの編曲で演奏いたしますが、弦楽アンサンブルでどのような響きになるのか楽しみです。他の曲、ブリテンの“シンプルシンフォニー”を前菜とすればドヴォルザークの“弦楽セレナーデ”は栄養たっぷりのメインコースでしょうか。また、今回はNHK交響楽団のコントラバス首席奏者の吉田秀さんが参加してくださいませ。カザルスホール時代からのお知り合いです、ご一緒にお仕事出来るのは20何年ぶりでしょうか！

12月定期の前、11月26日(日)には、鳥栖市民文化会館でフッペルピアノコンクールの優勝者、佐野良太さんとの共演コンサートがあります。こちらの曲目は、OMURA室内合奏団音楽監督だった迫昭嘉さんの指揮で、メンデルスゾーンのピアノ協奏曲、ベートーヴェンの交響曲第4番他です。鳥栖まで足を伸ばして応援していただけると嬉しいです。



OMURA室内合奏団 芸術監督 村嶋 寿深子

● キャンプ 8月10日(木)~8月12日(土) ● コンサート 8月13日(日) シーハットおおむら・さくらホール



暑い夏は、ハットくんTシャツを着て大村へ行こう! 恒例のミュージック・キャンプに今年も小学2年生から高校3年生までの35名とキャンプ卒業の大学生、おなじみのゲスト3名の講師陣とOMURA団員で総勢約50名がさくらホールに集いました。

最初の3日間は合奏の練習とオーディションに合格した子供たちの室内楽セミナーが全て公開で行われ、聴講された方々もとても楽しめる内容でした。

今年の日玉は、最終日のコンサートで、チェロ以外全員で立奏したことです。発案はもちろん松原先生ですが、子供たちには初めての経験で、いつもより伸び伸びと楽しく、大人顔負けのフレッシュな演奏を披露することができました。ここでの経験が、良い思い出となり、将来、プロの弦楽器奏者になることを夢めている子供たちがいてくれることを期待したいと思います。来年もまたキャンプで会いましょうね。



かわくち ちほ
川口千穂 (ヴァイオリン)

● 9月2日(土) シーハットおおむら・さくらホール ● 9月23日(土) 国見町文化会館(まほろば)
● 9月24日(日) 鹿島市民立生涯学習センター・エイブル ● 10月1日(日) 南島原市ありえコレジヨホール



「オオカミ怖〜い!」

今年の親子コンサートは、大村2公演に加え鹿島、国見、南島原の計4カ所に規模を拡大して行われました。前半は音楽物語「ピーターと狼」、後半は童謡や子供が好きな歌を演奏しました。

今回も主役は客席の子供たち。ママの腕の中でキョロキョロしていたのに狼をみて音楽を聴くと、みるみる青ざ

めていく赤ちゃん。ティンパニの銃声に叫ぶ子供。歌になると全身で飛び跳ねて歌って大満足だったという感想を沢山いただきました。

ピーターは、語りに加え劇団夢桜の皆さんによる劇がついていて、迫真の演技で場を盛り上げてくれました。そして、「うたのおねえさん」村岡恵理子さんが歌い出すと子供が皆歌う!それを嬉しそうに見守っている大人を観るにつけ、音楽の種を蒔くというのはこういう事かなあと手応えを感じています。

親子コンサート、私の周りでは「またやって欲しい」という声を多数聞きます。ずっと続いて欲しいと願ってやまない公演です。



ひぐち よしみ
樋口芳美 (クラリネット)

● 9月13日(水)・14日(木) シーハットおおむら・さくらホール



『誰もが最初は初めての曲。大人の価値観で子ども達の可能性や選曲を決めつけてはいけません』

アーティストックアドバイザーの松原勝也さんがおっしゃっていて、ハツとした言葉です。

今回のコンサートでは大村市内の小学校5年生に『交響曲』の第1楽章を通してオーケストラの魅力を感じてもらえるようなプログラムを練りました。

楽器紹介やリズム、ハーモニーそして音楽での会話を感ずる体験など盛り沢山の内容!

コンサート前は子ども達に真意がちゃんと伝わるのか、飽きてしまわないかとても不安でしたが、私たちの想像以上にいろいろなことを見て、聴いて、感じてくれていたようでした。

目を輝かせ、身をのり出し交響曲に聴き入る姿を見ると今までの不安が私の決めつけによるものだったと反省しました。

これからも子ども達に音楽やオーケストラの魅力が届ける活動を大切にしていきたいです。



いけだ ゆき
池田祐希 (フルート)

受付はありませんので
終演後、直接会場まで
お越しくださいませ♪

クラシック講座

日時 2017年12月2日(土) 14:00~
会場 大村市中央公民館「花しょうぶ」
受講料 無料

詳細は事務局までお問い合わせください。



講師 亀子 政孝
(コントラバス)

茶話会

日時 2017年12月16日(土) 演奏会終演後
場所 大村市中央公民館 花しょうぶ
参加費 500円

参加団員 川口千穂・齊藤享・中西弾(ヴァイオリン)、
池田文子(ヴィオラ)、田辺清士(チェロ)



団員と楽しく
お話しませんか?

前回の茶話会の様子

結成15周年記念企画

2018年1月「結成15周年記念パーティー」
詳細は事務局までお問い合わせください。

2018年9月「福岡公演」・・・ほか

私とOMURA室内合奏団

vol.16

合奏団ができた15年前、大村で生まれ育った私にとってオーケストラで演奏する機会は殆んどなく、『長崎にプロのオーケストラを作りたい』と村嶋芸術監督のお話を聞いて、「この夢のステージに立ちたい」と思いました。

その頃は誰も直面する親の介護で、教える事が中心の生活、演奏活動は休止状態でした。それから大きく生活は変わっていきました。でも身体は正直で、演奏していて辛いこともありましたが、音楽をすることで私自身大きなエネルギーをもらってきました。

オーケストラの中で何気ない1つの音を出すのは、常に緊張の瞬間です。音楽は不思議なもので、時に違う世界に旅した気分になれる時、それを共有できる仲間がいることはこんなに幸せなことはありません。

念願だった東京公演が叶いあれから2年、直前に指揮者として秋山和慶氏を迎えての定期演奏会では、大学の吹奏楽特講で秋山先生の指揮で演奏した感動が甦りました。世界的な演奏家の方々と共演など貴重な経験も多くさせて頂きました。この秋は、親子コンサート・スクー

ルコンサート、鳥栖公演など各地でのオーケストラ公演も増え、お陰様で充実した日々を送っています。

ステージから伝わる音の振動とその余韻、演奏者の息づかい、いくつもの音が重なり合った響きこそがオーケストラの最大の魅力です。母親に抱かれた赤ちゃんから子供たちまで、多くのお客様が生演奏で聴いて頂けるようになったことは、とても嬉しいことです。出会った子供たちのより豊かな成長を願って、演奏を繋げていきたいと思っています。

これまで熱心にご指導くださった先生方、芸術監督、スタッフ、暖かいご支援頂いた多くの皆さま、本当にありがとうございました。これからも愛しい仲間とお客様とともに素敵な音楽が奏でられるよう頑張っていきたいと思っています。末永くよろしくお願ひいたします。



さかくち なおこ
坂口直子 (クラリネット)

♪ 音楽と私

物心ついた時から、音楽が好きだったような気がします。幼い頃から、母や叔父たちが唱歌や童謡をよく口ずさんでいましたので、私も歌を唄うのが大好きでした。

小学4年生の頃にTVで始まった『みんなの歌』には夢中になりました。ピアノもその頃習い始めていたので、楽譜をNHKから取り寄せて音程を確かめながら、いつも歌っていました。

高校・大学の頃にはフォークソングやポップスにもはまりました。会社に入るとバンドに参加し、下手なキーボードとヴォーカルで楽しみました。

子供が誕生してからは子守唄を唄うくらいでしたが、その影響が定かではありませんが、娘たちも大学でバンド活動をしていました。

最初の孫を3歳の頃しばらく預かっておりましたので、『あいうえお』を覚えるようにと『あいうえおほしさま』を

唄ってあげました。今でも、時々童謡などを孫たちと歌ったりします。また孫たちはアナ雪の歌やアニメソング等をママ（私の娘）と一緒にしっかりと歌っています。

10数年前によく行く居酒屋屋さんで、OMURA室内合奏団の団員の方のライブが時々開催されていました。身近で聴くプロの生のクラシック音楽には感動しました。

また最近、チェロのお試し講座に参加し、光田先生にご迷惑をかけながら、時々チェロを触っております。

慰められ、勇気づけられたことに感謝をし、これからもずっと音楽は大好きだと思います。



ふくたに みほこ
福谷 美保子

Mi Chiamo

ミ・キアーモ

3つの質問で
メンバーを知ろう!

※ミ・キアーモとは、イタリア語で「私の名前は、○○○」の意。

- 1 自己紹介を自由にどうぞ!
- 2 ひそかなマイブーム
- 3 最後の一言



ヴァイオラ
もりした かりん
森下 香蘭

- 1 千葉県に生まれ育ち福岡に住んで21年。3歳からピアノ、4歳からヴァイオリン。15歳でヴィオラに転向、音高音大へ。実はピアノが大好きで高校の時は隠れピアノ科!?
- 2 出がらしのお茶っ葉を食べることがブームであり、幸せを感じる時。
- 3 9月から入団させて頂きました。団員としてのこれからの活動が楽しみです。どうぞ宜しくお願い致します。

- 1 出身は福岡県久留米市で今も住んでいます。妻一人子供二人(小学校二年生の男の子と来年小学校に入学する女の子)。家族仲良く暮らしています。
- 2 「古典落語」です。クラシック音楽と同じで囃家さんによって変化するところがとても面白く、移動中や寝る前に聞いて一人で笑っています。
- 3 こんな私ですが、OMURA室内合奏団のこれからをまずは素晴らしい合奏団にするべく日々精進してまいります。皆さまの応援があるからこそ頑張っていけるものです。これからはよろしくお願します。



トランペット
いでくち ひろみ
井手口 博文

ご支援ありがとうございます (10月25日 現在) 法人会員数 65件(±0件) NPOは、会員皆様の会費が主な収入源です。
個人会員数 165人(-3人) 周りの方で、興味のある方がいたら、ぜひお問い合わせ下さい。

編集
後記

食欲の秋、今年も旬な物味わえました。お腹の冬支度は十分です。来月の定期演奏会は弦楽の素敵なサウンドをお楽しみに♪茶話会でもお会いしましょう。(ちほ)

最近リンゴ酢にハマっています!ソーダ割にして毎日飲んでます。体にもいいそうなのでオススメです。(いけっち)

食欲の秋ですね!!あれ美味しそう、これも美味しそう...と食べてばかりいますので、そろそろ「体育の秋」も始めないといけませんね(-;-) (えりな)